

田植え体験から学ぶ

6月に入りました。6月の代表的な和風月名は、「水無月」です。梅雨時で雨の降りやすいにも関わらず、「水が無い」と表すのを不思議に感じたことのある人も多いのではないのでしょうか。最も有力な説は、田んぼに水を張る月という意味の「水な月」だという説です。水無月の「無」は、「の」にあたる連体助詞「な」であるため、「水の月」という意味にもなります。今まで水の無かった田んぼに水を注ぎ入れる頃であることから、「水無月」と呼ばれるようになったとのこと。この時期の雨は稲が実を結ぶために重要なものであるため、豊作を願う人々の思いがこの呼び名に表れているともいわれています。私も小学校の田植え体験を見学させていただき、始めの田んぼに入ること

を怖がる姿からあっという間に慣れ、初めての体験に興味津々で生き生きとした表情の子どもたちは印象的でした。田んぼに足を運ぶことで五感を使って自然を感じ、普段の生活では味わうことのできない体験から新たな発見が生まれる。普段食べているお米を育てること

きたいところですが、また、大人であつても忘れてしまっていることや学ぶことはたくさんあるなど感じた次第です。そして今年も無事に稲刈りを迎えられる、おいしい新米を食べられる日が楽しみです。

さて、総理肝入りの政策「定額減税」が今月より始まります。物価高騰で家計への負担が大きくなる中、この定額減税は直接的な個人の可処分所得増加につながるため注目されています。ニュースなどを見ますと「一時的だけ車の税金などお金の掛かる時期なのでありがたい」「仕組みが難しくくてよく分からない」「現金でもらいたい」という声があるようですが、まずは定額減税の目的や仕組みの周知が急務と言えます。今月号でも紹介しておりますが、詳しくは市ホームページなどをご確認いただければと思います。

梅雨の時期はちよつと憂鬱なイメージもありますが、日本の特徴的な季節であり、この時期ならではの発見や過ごし方を見つけて、ハッピーに過ごしましょう。



市長 宮内康幸

匠瑳探訪 網大漁

長谷を歩く

九十九里浜に面した市内の地域では、かつて地引き網などの漁業が盛んだったとされています。しかし残念なことに、その様子を伝える資料は乏しく実態を知ることができません。

千葉県立関宿城博物館の企画展「鯛は弱い が役に立つ」(平成29年秋開催)で、長谷地区星宮神社の「地引き網図絵馬」が紹介されたこと聞き、今回それを拝見できました。

絵馬の大きさは縦82cm、横154cm、図録によると、「房総沖に地引き網絵馬は数多いが、網主と地引き網に関係する漁夫たちが奉納している点が興味



星宮神社の地引き網図絵馬

深い」とされます。

奉納は1897(明治30)年11月25日、絵馬の右端に「奉納 網大漁」、その下部分に網主名、左下部分に「沖合」「マカナイ」、「水カケ」、「ナカノリ」、「ヤナバ」各1名、「船頭」4名の名前に加え「外水夫85名」と書かれており、合わせると95人となります。

これらのすべてが長谷村の人たちであると、共興村が誕生した1889(明治22)年の長谷村は160軒、約6割が絵馬の奉納に関係したことになります。

この絵馬の特徴は「漁夫たちの役職名が分かる地引き網絵馬」(「図録」とされ、図には海岸沿いのはるか向こうまで地引き網の漁船が並び、手前では水揚げした鯛が広げられ干鯛にされている様子が描かれています。

大漁の願いは、吉崎地区星宮神社に1784(天明4)年と1862(文久2)年に「海上安全 水主繁盛」と刻まれた石灯籠が奉納され現存しています。それに加えこの地引き網図絵馬も漁業が盛んだったことを伝える貴重な遺物といえるでしょう。

星宮神社拝殿には前号で紹介した「日光参拝」の絵馬と同様に、明治30年代以降から戦前にかけての「善光寺日光山参詣同行」の絵馬や「関西四国房州参拝記念」などの写真が多く奉納されています。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課 広報広聴班 ☎73・0080

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

にぎやかな花見の盛も過ぎゆきて

葉ざくくも良き朝の静けさ

鈴木 和子

むらさきの長き花房藤の花

高貴な姿風にたゆとう

古谷由美子

賑やかなチューリップ祭りくり出せば

花々から沸く思いやり

小川 一夫

定まらぬ晴れ間を惜しみジャガ芋を

夫と植えたりささやかな幸

木下 昌子

目に青葉田には早苗の季が巡り

田植機入りて活気づく里山

大木 洋一

山倉の都わすれの群生の

自然の林ときめきて入る

高橋百合子

あつちやんが逝きて一年命日に

猫への想い変わること無し

鈴木 志子

水仙に桜チューリップ咲き盛り

長閑な日和鶯の鳴く

川口 城司 推薦

情報のごみも宝も流れをる

伊橋 良子

ネット世界の超々大河

石田 治

俳句

椿 和枝 推薦

じゃがいもの花咲き初めし朝かな

春雨の残せる雫江戸切子

春花野越えて浄土へ夫召さる

三人の曾孫万歳鯉のぼり

行く春やピアノソナタを弾き終えて

春眠の蝦のごとくにあと五分

播き終えて種袋さす畝の端

鈴木 志子

白馬の苗を植えよと神歌う

花吹雪ひとひら頬へ泣いた子に

春日 政彦

川柳

勝又 康之 推薦

美しい日本地震に壊される

六年間友と道草別れ道

熊だつて木の実があれば里へ来ぬ

急ぐ朝充電忘れスマホ赤

知らぬ間に友が逝つた家族葬

朝と昼ボケタ夫婦に時差がない

この思い伝わらぬのがもどかしい

伊橋 裕子

紅の字で一番ひがいは麴菌

オシヤレして行く先いつも病院へ

伊橋 裕子

清潔が我一番のおしゃれかな

須貝 玉泉

地域おこし協力隊員の鈴木優介さんが、参加・体験した市内イベントなどで感じたことをお伝えします。



里山を歩くピクニック参加者

匝瑳

スズキ発見伝

巻之参

自然の中を自分の足で

最近、何も考えずに自然の中を歩いたことはありますか？先日、市内事業者による里山ピクニックに参加しました。地元の農家さんから里山の動植物について説明をしてもらい、緑に囲まれた場所でお弁当をいただきました。自然を堪能できるフルコースを味わい、自然と共存しながら生活することで心が落ち着くことが実感できました。

5月は市とJR東日本千葉支社が企画した「駅からハイキング」が実施され、多くの観光客が匝瑳市を歩いて

いました。市では他にも「八社参り」や「オリエンテーリングパーマネントコース」など、歩くことを推奨する取り組みを年間通じて行っています！車社会の匝瑳市で、あえて歩くということは少ないかと思いますが、気分転換にたまには散歩してみてもはいかがでしょうか！

Instagram
Instagramで匝瑳市の魅力を発信中
アカウント名「@y_suzuki_sosa」
イベントなどの情報は
☑y.suzuki.sosa@gmail.comまで